

シーボーク 300J-L

道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」 P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時の便利な方法です。
(PE3号400mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

 **やけどに注意!**

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 道糸をレベルウィンドに通してスプールの結んでください。

- ※付属の糸通しピン (P.12参照) を使うと簡単に通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
- ※ドラグを締め付けてください。

2. ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させてください。

4. 表示が **0.0** のときに
MEMO (底から/棚メモ) スイッチと
PICKUP (チョイ止巻/ジャクリ) スイッチ
を同時に6秒間押し続けてください。
※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。

5. 初期設定PE4号300mの画面になります。

(**PO** が点滅します。)

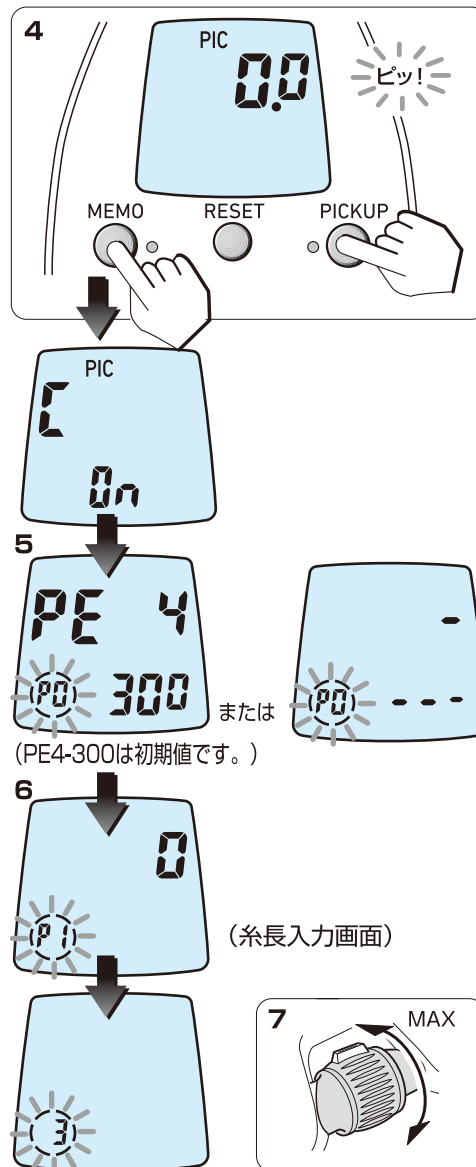
※ここで一旦スイッチを離してください。

6. **PICKUP** (モード/チョイ止巻/ジャクリ) スイッチ
を1回押して糸長入力画面にします。

(**P1** が点滅します)

7. テンションを調整して、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し道糸を巻きます。

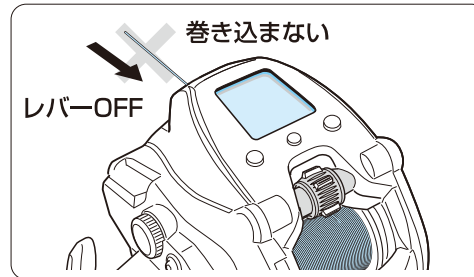
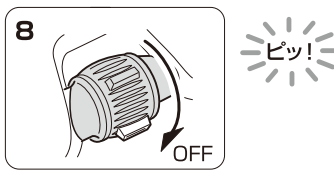
※パネル左下の数字が3~4になるようにテンションを調整してください。



注意

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

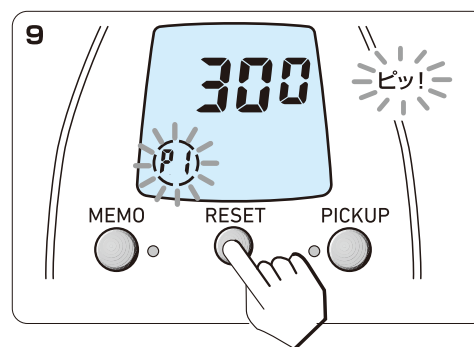
8. 巻き終わったらジョグパワーレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



注意

- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・この入力方法はPE2号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

9. **RESET(リセット)** スイッチを2秒以上、表示が **300** m になるまで押してください。(300は初期設定値です。)

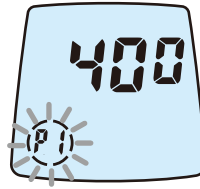


道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

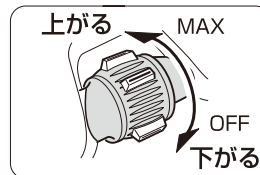
P1 糸長入力

10. ジョグパワーレバーで、道糸の長さをセットします。

(図は、400mにセットした場合です。)
(セットする数値は、10m単位です。)

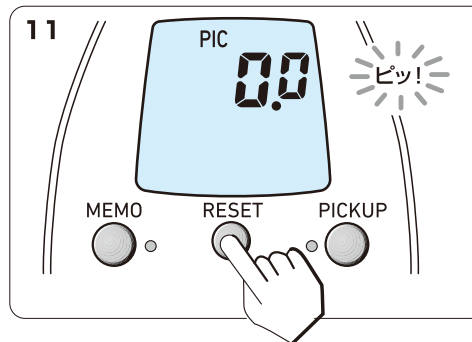


10



11. **RESET (リセット)** スイッチを2秒以上押してください。アラーム音が鳴り、表示 **0.0** の点滅が終われば完了です。

※ **Err** になった場合は、**PICKUP (チョイ止巻/ジャクリ)** スイッチを押して始めから再度入力又は、引出し入力 (P24.25) をしてください。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。

⚠
やけどに注意！

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 下巻用の糸をレベルワインドに通してスプールに結び、通電させてください。

- ※付属の糸通しピン (P.12参照) を使うと簡単に通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
- ※ドラグを締め付けてください。

2. 下巻用の糸を巻きます。

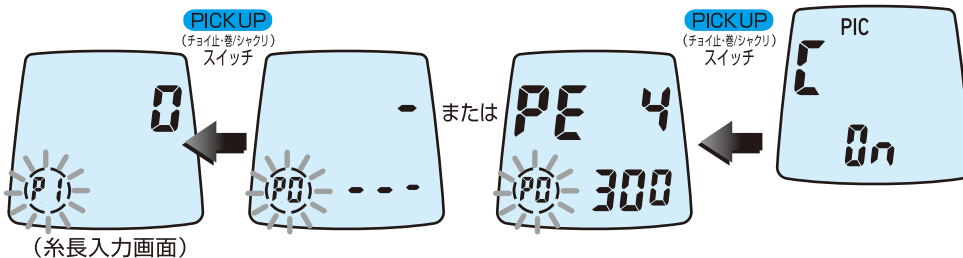
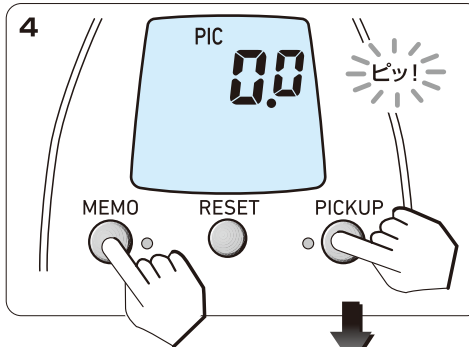
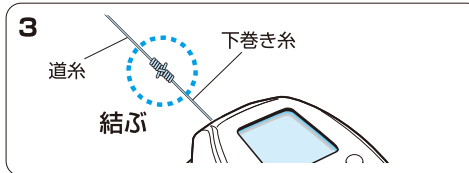
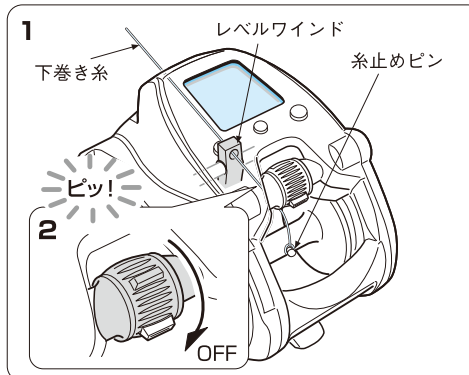
- ※ジョグパワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから出力してください。

3. 上糸をしっかり結びます。

4. 表示が **0.0** のときに

- MEMO** (底から/棚メモ) スイッチ
 - PICKUP** (チョイ止巻/ジャクリ) スイッチ
- を同時に6秒間押し続けてください。

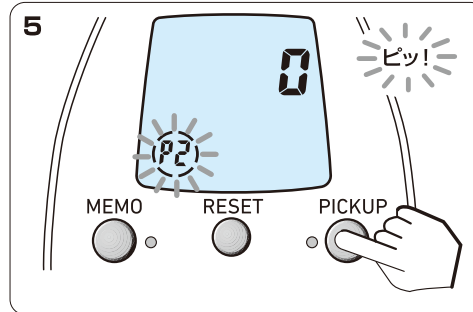
- ※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になり **PO** が点滅します。
- ※ここで一旦スイッチを離してください。次にもう一度 **PICKUP** (チョイ止巻/ジャクリ) スイッチを押すと **P1** が点滅します。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

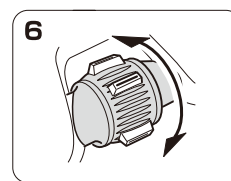
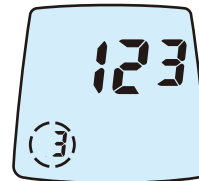
5. 糸長入力画面になったらもう一度 **PICKUP** (チョイ止巻/ジャクリ) スイッチを押して下巻き入力画面にしてください。
P2 が点滅します。



6. テンションをかけて糸色に注意しながら残り100mになるまで道糸を巻いてください。

ジョグパワーレバーを倒すと **P2** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。
※安全のためパワーレンジでスタートします。(変速は可能です。)

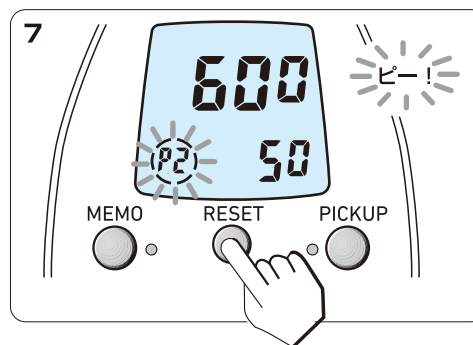
パネル左下の数字が3~4になるようにテンションを調整して巻いてください。



注意

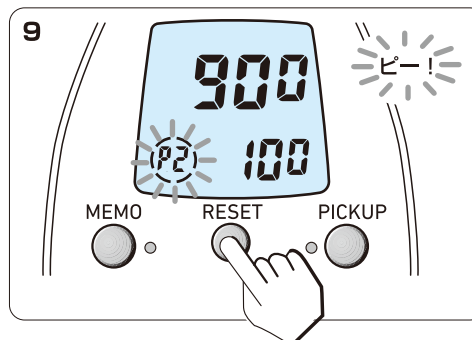
- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. **RESET** (リセット) スイッチを2秒以上押してください。
P2 が点滅し、下のカウンターが **50** になります。
上のカウンターの数値は糸を巻くと増えていきます。



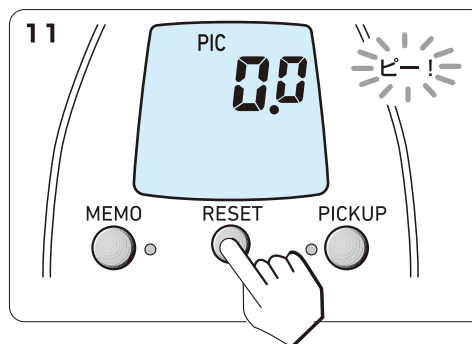
8. テンションをかけて糸色に注意しながら50m道糸を巻いてください。

9. **RESET (リセット)** スイッチ
を2秒以上押してください。
下の数字が **100** になります。



10. テンションをかけて糸色に注意し
ながら残りの50mを巻いてくださ
い。

11. **RESET (リセット)** スイッチ
を2秒以上押して表示 **0.0** の点滅
が終われば完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・PE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE1～2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ **Err** になった場合は、
PICKUP (チョイ止巻ジャクリ) スイッチ
を押して始めから再度入力又は、引出し
入力 (P24.25) をしてください。